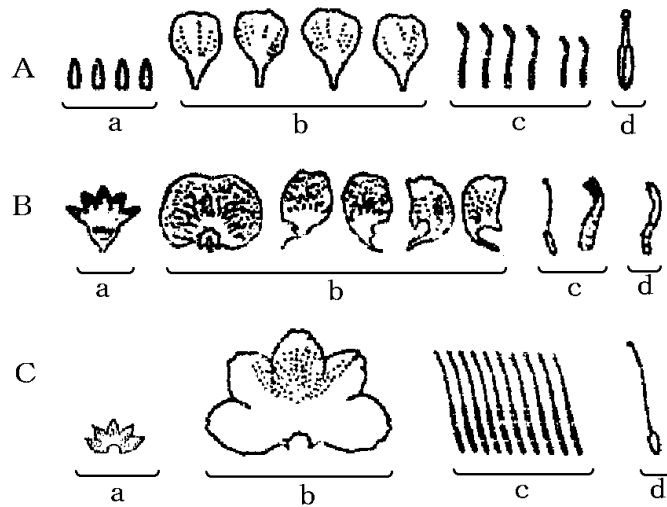


第 10 章	理科(1 年)	名前:	日 付	No.01
	花のつくり			

[問題 1]

次の図は、3 種類の花を分解したものである。

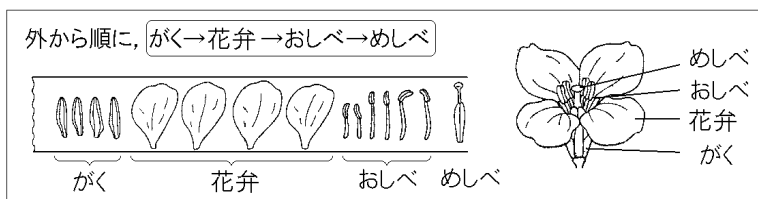


- (1) a～d の部分をそれぞれ何というか。
- (2) A～C の花に共通しているのは、どんなことか。
- (3) a～d の中で①最も内側に、②もっとも外側についているものをそれぞれ記号で答えよ。

[解答欄]

(1)a : がく	b : 花弁	c : おしべ	d : めしべ
(2) めしべを中心におしべ、花弁、がくの順になっていること。			
(3)①d	②a		

[解説]



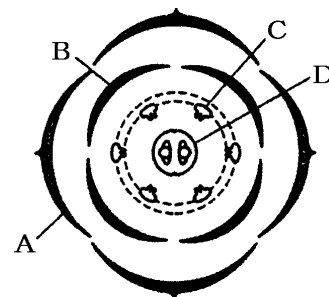
被子植物の花には、真ん中にめしべ(胚珠が中にある)があり、それをおしべ(花粉をつくるやくがある)がとり囲んでいる。その外側に花弁・がくがある。

花を外側から順にはがして台紙に張ると、がく(a)、花弁(b)、おしべ(c)、めしべ(d) の順で並ぶ。

【問題 2】

図はアブラナの花の横断面を表している。次の各問いに答えよ。

- (1) A～D の各部分の名称を書け。
- (2) A～D の並び方は、ツツジでも同じか。
- (3) B をもとに、2 つのなかまに分けることができる。どのような基準で分ければよいか。
- (4) D に見られる小さな粒を何というか。
- (5) (4)の粒は、成長すると何になるか。



【解答欄】

(1) A がく	B 花弁	C おしべ	D めしべ
(2) 同じ。	(3) 花弁が離れているか、くっついているか。		
(4) 胚珠	(5) 種子		

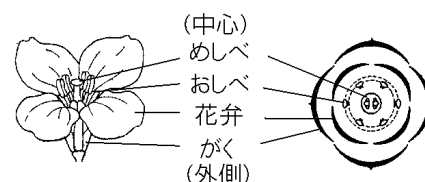
【解説】

(1) 被子植物の花には、真ん中にめしべ(D)があり、それをおしべ(C)がとり囲んでいる。その外側に花弁(B)・がく(A)がある。

(2) すべての被子植物は、中心から、めしべ→おしべ→花弁→がくの順にならんでいる。ツツジも被子植物であるので、この順番で並んでいる。

(3) 被子植物の双子葉類は、花弁やがくがばらばらである離弁花類と、花弁やがくがくっついている合弁花類に分類される。

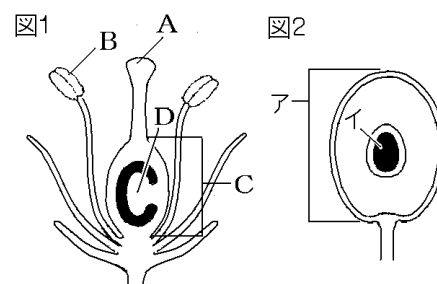
(4)(5) めしべの子房の中に胚珠がある。おしべのやくでつくられた花粉がめしべの柱頭について受精がおこると、この胚珠はやがて種子になる。



【問題 3】

図 1 は、被子植物の花のつくり、図 2 は、花の一部が成長したすがたである。以下の各問いに答えなさい。

- (1) 図 1 のめしべの先の A の部分の名前を答えなさい。
- (2) 図 1 の B～D の各部の名前を答えなさい。
- (3) 図 1 の C は成長すると、図 2 のアになる。このアの部分の名前を答えなさい。
- (4) 図 1 の D は成長すると、図 2 のイになる。このイの部分の名前を答えなさい。
- (5) 花粉をつくるのは図 1 の A～D のどの部分か。記号で答えなさい。
- (6) 花粉が図 1 のめしべの先の A の部分につくことを何といいますか。



【解答欄】

(1) 柱頭	(2) B やく	C 子房	D 胚珠
(3) 果実	(4) 種子	(5) B	(6) 受粉

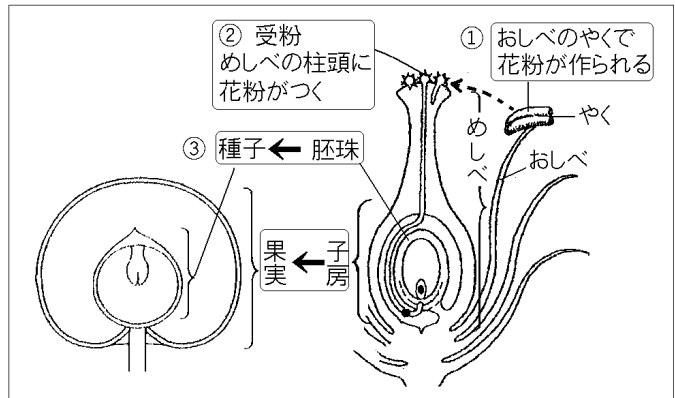
【解説】

花の役割は種子をつくって、なかまをふやし、子孫を残すことである。

おしべのやくで花粉がつくられ、めしべの柱頭に花粉がつく(これを受粉という)。受粉後、花粉管がのびてめしべのふもとの子房の中にある胚珠に達して受精がおこる。受精した胚珠はやがて種子になる。また、子房は果実になる。花を咲かせて種子をつくってふえる植物を種子植物という。

種子植物は、図のように胚珠が子房におおわれている

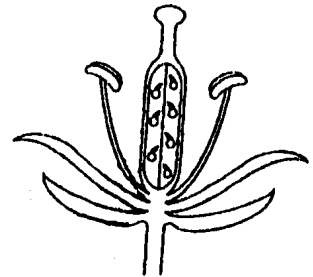
被子植物と、子房がなく胚珠がむき出しになっている裸子植物に分けられる。アブラナ、タンポポ、サクラ、ツツジ、エンドウなどは被子植物で、マツ、イチョウ、スギ、ソテツなどは裸子植物である。



【問題 4】

花のはたらきについて、次の各問いに答えなさい。

- (1) 図の花では、受粉が行われると果実や種子ができます。このときの「受粉」とはどんなことか。くわしく説明しなさい。
- (2) 受粉をした後、種子になる部分を何といいますか。漢字で答えなさい。
- (3) マツは、種子ができる部分がむきだしになっています。このような植物を何といいますか。漢字で答えなさい。
- (4) 種子をつくってなかまをふやす植物を何といいますか。漢字で答えなさい。



【解答欄】

(1) おしべのやくでつくられた花粉がめしべの柱頭につくこ	(2) 胚珠
(3) 裸子植物	(4) 種子植物

【問題 5】

次の文の空欄①～⑧にあてはまる言葉を書け。

- (1) 花には、ふつう、がく、花弁、(①)、めしべがある。
- (2) めしべの元にあるふくらんだ部分を(②)といい、この中に見られる小さな粒は(③)とよばれる。
- (3) おしべの先のやくでつくられた花粉がめしべの先の柱頭につくと、やがて子房が(④)になり、胚珠は(⑤)になる。
- (4) 花をさかせ、種子をつくる植物のなかまを(⑥)という。
- (5) エンドウやサクラなどのように、子房の中に胚珠がある植物のなかまを(⑦)という。
- (6) マツやイチョウのように、胚珠がむきだしの植物のなかまを(⑧)という。

【解答欄】

(1)①おしべ	(2)②子房	③胚珠	(3)④果実
⑤種子	(4)⑥種子植物	(5)⑦被子植物	(6)⑧裸子植物